

会議結果報告書

令和6年5月31日

会議の名称	令和6年度 第1回 志木市上下水道事業審議会
開催日時	令和6年5月31日(金) 13時00分～ 14時10分
開催場所	志木市水道庁舎 2階 会議室
出席委員	山中政市会長 岩下悟朗副会長 上原 実委員 金子義一委員 木下武久委員 佐藤麻世香委員 高橋好江委員 高山裕子委員 (計 8人)
欠席委員	伊藤満枝委員 上野剛彦委員 (計 2人)
説明員職氏名	上下水道部参事兼上下水道総務課課長 佐藤英樹 上下水道部参事兼水道施設課課長 岡田憲和 上下水道部参事兼下水道施設課課長 吉田政弘 (計 3人)
議題	(1) 志木市水道事業会計並びに下水道事業会計予算について 上下水道総務課長 (2) 事業内容及び今後の計画について 水道施設課長 下水道施設課長
結果	(1) 上下水道事業の令和6年度予算概要などを説明 (2) 上下水道事業の令和6年度工事予定などを説明 (傍聴者 0人)
事務局職員	上下水道部長 山崎仁 水道施設課副課長 吉野政幸 上下水道総務課主査 吉田達哉

審議内容の記録（審議経過、結論等）

- 1 開 会
- 2 事務局職員紹介
- 3 議 事

（１）志木市水道事業会計並びに下水道事業会計予算について

（説明員）

水道事業の令和６年度予算について、以下のことについて説明する。

- ・水道事業は令和５年度に引き続き赤字予算となったこと。
赤字予算の理由として、電気料金が高値圏のままであることや人件費の上昇による委託料や修繕費の上昇が挙げられる。
赤字の対応として、過去の利益の積上げで補てんする。
- ・収入支出の主な内容について

（説明員）

下水道事業の令和６年度予算について、以下のことについて説明する。

- ・下水道事業も赤字予算となったこと。
赤字予算の理由として、水道事業と同様委託料や修繕費の上昇が挙げられる。
- ・収入支出の主な内容について
- ・一般会計からの繰入金について
総額を見ると減少傾向にあり、補助金部分については令和６年度は０となった。

（説明員）

今後の上下水道事業について、以下のことについて説明する。

- ・戸数は増えているが、人口は減少傾向にあること。
一世帯あたりの人数が減少していることが考えられる。
節水機器の普及により、料金収入は頭打ちとなっている。
- ・小学校のプール事業廃止、柳瀬川駅前のプール廃業、丸井８階の飲食店が市の施設になっているなど、大口需要の減少もある。

・県水の購入単価について

令和6年度は3億2,000万円の支払いを見込んでいる。

埼玉県では、単価を令和7年度以降に20%程度改定する情報あり。

・汚水処理負担金について

令和6年度は3億2,800万円の支払いを見込んでいる情報あり。

埼玉県では、汚水処理に係る単価を今後30%程度改定する予定。

・不明水（浸入水）について

汚水管へ地下水が入り込み（浸入水）、その分余分に汚水処理費用が発生している。

質疑応答

（委員）

雨水処理負担金というのは、どういった事業費に充てられているのか。

（説明員）

雨水管渠費、雨水ポンプ場費、館第一排水ポンプ場費や支払利息と減価償却費の一部に充てている。

（2）事業内容及び今後の計画について

（説明員）

水道事業の令和6年度工事予定等について、地図を用いて以下のことについて説明する。

- ・大原浄水場受配電設備工事外更新工事を令和5年度から3か年の継続費で実施していること。
- ・大原浄水場次亜室の空調設置工事を行うこと。
- ・中央通停車場線で布設替工事を行うこと。
- ・国道254号バイパス整備に伴い仮配水管の布設工事を行うこと。
- ・舗装本復旧工事が2本あること。
- ・設計業務を2本予定していること。
- ・令和6年度以降は、引き続き3か年の継続費で実施している浄水場の設備更新を行っていくこと。

（説明員）

下水道事業の令和6年度工事予定等について、地図を用いて以下のことについて説明する。

- ・館第一排水ポンプ場の監視システム及び常用ポンプの更新を行うこと。
- ・東部幹線及び西部10号幹線の接続ゲートの改修を行うこと。
- ・埼玉県内の道路の整備に併せて下水道の布設替えを2本予定していること。
- ・老朽管の更新工事を予定していること
- ・未整備水路の整備を予定していること
- ・計画策定や下水道施設の保守点検、水路清掃、草刈り、その他道路課が所管している排水機場の維持管理といった委託業務を予定していること。
- ・令和6年度以降について
館第一排水ポンプ場の4台のポンプ設備を更新していく。
汚水管の老朽化対策や不明水対策としての更新工事を令和9年度まで実施する。

近年頻発する局所的な大雨に対応するために、水害を抑制するための雨水管理総合計画を策定する。

質疑応答

(委員)

国道254号関係の工事があるが、県道以南の開通予定は決まっているのか

(説明員)

開通予定は決まっていないが、整地等整備の予定は埼玉県から来ているため、それ併せて工事を行う。また、濁り水対策という側面もある。

(委員)

水道管の耐震化というのは、震度いくつまで耐えられる想定か

(説明員)

震度を基準とした耐震化ではないが、震度6を想定している。

(委員)

水道管の耐震化とは具体的にどういったことか

(説明員)

管の継ぎ手の部分が伸縮し、曲がることによって耐震化している。

(委員)

下水道事業はどのように耐震化を進めているか

(説明員)

下水道管が割れて道路陥没を起こすことにより、緊急車両の通行に影響を及ぼすような箇所や、避難所と幹線を結ぶ箇所等、2次被害を防ぐ目的で耐震化する箇所を決めて耐震化している。

全体で2.93kmが耐震化対象となっている管路延長で、令和5年度までに全て終了している。

また、館第一排水ポンプ場と志木中継ポンプ場は、建物の耐震化も終えている。

(委員)

浸入水対策はどのように行っているのか。また、効果は出ているか。

(説明員)

平成28年度から平成30年度に市内全域の下水道管にカメラを入れる調査を行っており、破損箇所を新しいものに変える工事を行っている。

まだ目に見えて効果は出ていないが、継続的に工事を行っていく。

(委員)

丸井の8階は今後戻る予定はあるか。

(会長)

市民会館と市民体育館の複合施設が完成した後に丸井に返還されるが、一部は市の施設が残る可能性がある。

(委員)

県水の購入割合は60%とのことだが、ここ数年でこの数字になったのか。昔は80%程度だったと記憶しているが。

(説明員)

我々が把握している限りではずっと60%である。

近隣市では、70%や90%のところもある。

地盤沈下の問題もあるため、購入割合を下げることはなかなか難しい。

(委員)

今後志木市も水道料金の改定という話はあるか。

(説明員)

委員の皆様には前述した課題等をご検討いただいたうえで、今後どうしていくのかご意見を頂戴していくことになる。

事務局からお知らせ

- ・報酬については6月14日振込予定
- ・水道事業及び下水道事業で経営戦略の改定作業中である。元案ができ次第、内容等の検討をお願いすることになる。
- ・委員の任期は今年の10月までとなっている。

(以上で上下水道事業審議会を終了。)